

Rotary
District 2620

よいことの
ために
手を取りあおう

UNITE
FOR
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例会 第 1637 回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：山田幸保君

■ 会長挨拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、先週の 5 月 28 日は、創立 35 周年記念夜間例会に多くの皆様のご出席いただき誠にありがとうございました。

チャーターメンバーや直近のバスター会長から、当クラブの「奉仕と親睦活動の 35 年の歴史」と今日まで、引き継がれてきた地域貢献を再確認することで、会員の皆様のロータリー活動への熱い思いを共有できました。

藤枝南クラブとして「変えるべきことと、変えてならないこと」を再認識できた例会であったと思います。

初代富澤会長が掲げた「エンジョイ・ロータリー」をさらに広げて、ロータリーの仲間や他の奉仕団体と連携して、「地域課題を解決する継続可能な奉仕活動」を継続したいと強く感じた創立記念夜間例会となりました。

今年度は、ロータリークラブの「周年記念例会」が多く開催される年度です。

先週の 5 月 30 日（土）には、焼津ロータリークラブ（村田昌弘会長）が、焼津市内の松風閣にて、

創立 65 周年記念例会が開催されました。

焼津 RC より、出席依頼がありましたので、若林ガバナーエレクト、加藤幹事と 3 名で参加させていただきました。

例会に先立ち、物故会員に対し黙祷をしました。開会点鐘は、16:30 分 出席者は 100 名くらいでした。創立 65 周年記念事業として 4 事業の報告がありました。①岐阜県土岐市の土岐 RC との姉妹クラブ締結。②グローバル補助金事業（タイバンコク総合病院への医療機器贈呈）報告。③60 周年記念例会以降の会員へのクラブポロシャツ贈与報告。④会員手帳の作成事業（ホームページ上 PDF 形式）報告がありました。

次に、過去 5 年間のクラブビジョン・戦略的優先目標・戦略的優先テーマの総括があり、今後の 5 年間（70 周年まで）の戦略的計画を焼津クラブ全会員が共有し、「地域貢献活動」などに向け思いを新たにしました創立 65 周年例会でした。

当クラブも 5 年後の 40 周年に向け、次年度は、若林ガバナーを輩出するクラブとして、今まで以上に「地域に密着したロータリークラブ」であることを 10 月の第 2620 地区の地区大会では、藤枝南クラブの気概を示せればと思っております。

地区大会は渡邊博文実行委員長、をリーダーに「藤枝らしさ」を追求して記憶に残る地区大会に、南クラブの活動は、桑原会長、杉浦幹事の笑顔で「全員で楽しいロータリー活動」になることを期待いたします。

最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
39／49 79.59%	40／49 81.63%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）
○大村君○川口君○小嶋君○鷺坂君○樽井君
○増田君○松浦君○望月君 伊藤彰君 中山君
(1)メイクアップ者

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	43	2	25

パーフェクト例会数：😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

- ・結婚 35 年です。ありがとうございます。
松浦正秋君
- ・誕生祝いありがとうございます。いよいよ後
期高齢者です。
稲葉俊英君
- ・お誕生日プレゼントありがとうございます。
中野歩惟君
- ・妻へのプレゼントありがとうございます。
毎年感謝です。
竹田敏和君
- ・親睦旅行にご参加頂きありがとうございます。
た。無事終わることができました。
古川賢吾君
- ・ありがとうございます。56 歳
中村博史君
- ・ありがとうございます。
富澤静雄君

スマイル累計額 793,602円



フィオティリスウェイさん



最近の出来事として、TOEIC の勉強に力を入れていることが挙げられます。就職活動の面接で英語力について質問されるこ

とが多く、自分のスキルとしてしっかり身につける必要があると感じたためです。

そのため、TOEIC の学習に積極的に取り組むとともに、英語のスピーキング力の向上にも努めています。また、英語だけでなく、韓国語と中国語の学習にも挑戦しています。

オンライン授業を受講しながら、より自然に会話ができるようになることを目標に勉強を続けています。

これからも語学力を高め、自分の将来に役立てて
いきたいと考えています。



■ 会員親睦旅行報告



おめでとうございます！



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
6/12(金) 第 1638 回	早朝例会	
6/19(金) 第 1639 回	最終夜間例会	小杉苑
7/3(金) 第 1640 回	会長・ガバナー挨拶	理事会
7/10(金) 第1641回	委員長・幹事挨拶	小杉苑

今週の一言

秋谷貴也君



好きな言葉ではありませんが、記憶に残っている言葉と言えは中一頃の担任が色紙に書いて飾っていた「独

立自尊」です。当時はなんとなくカッコイイなと思っておりました。私も自分の言葉を見つけないと思い早40年、中国の知人が書いてくれました。「思無邪」私を思って書いてくれた文字です。意味は、「心に偽りや邪念が無い。」私に足りない言葉です。好きになって行きたい言葉です。



(担当/秋谷貴也君)

ハンガリーに来て 10 か月が経ちました。帰国まで残りわずかとなり、時間の流れの速さを実感しています。この一か月にあったことを紹介します。

5 月上旬には学校の心理学者の先生と話す機会がありました。そこで、ハンガリー人と日本人の考え方の違いや、自分自身について考えることができました。

ハンガリーの人々は、日本人と比べて自分の意見や感情を素直に表現する傾向があります。好きなものは好き、嫌なものは嫌だとはっきり伝える人が多いように感じます。私は、その背景には家庭環境も関係しているのではないかと思いました。

現在一緒に暮らしているホストファミリーには 9 歳の子どもがいます。私から見ると少しわがままに見えることもありますが、両親はその気持ちを否定するのではなく、一緒に解決策を探すような接し方をしています。「嫌いなものでも食べなさい」と命令するのではなく、「食べないとどうなるか」を説明し、最終的には本人の判断に任せています。

このような環境だからこそ、自分の好きなことや嫌いなことを素直に表現でき、親子の間にも対等な関係が築かれているのだと感じました。ヨーロッパの人々は学歴や社会の期待に流されるのではなく、自分の価値観を大切にしている人が多いように思います。

また、この会話の中で「自己中心的な人」と「自信のある人」の違いについても話しました。明確な結論には至りませんでしたが、自分自身について考える良い機会になりました。私はまだ、自分の好きなことや嫌いなことをはっきり伝える力や、自分に対する自信が十分ではないと感じています。しかし、人と関わることで少しずつ自分自身を知ることができるのだと思いました。

5 月 22 日にはホストファミリーと一緒にバラトン湖へ行きました。大学から借りたアパートに宿泊し、初日はホストマザーのおばあさんに会ったり、小さな島を訪れたりしました。

翌日はバラトン湖の反対側へ行き、最初のホストマザーの妹さんと再会しました。私によくしてくださった方だったので、また会うことができるとてもうれしかったです。

Balatonfüred では「聖水」と呼ばれる鉱泉水を飲みました。ミネラルやカルシウムが豊富に含まれているようですが、正直なところあまりおいしいとは感じませんでした。

5 月 28 日には Duna Rotary Club の最後の例会に参加しました。そこでハンガリー語でプレゼンテーションを行いました。このクラブの皆さんには本当に良くしていただき、多くの経験や人とのつながりを与えていただきました。このクラブに所属できたことを心から感謝しています。

5 月 29 日には留学生たちと一緒にバラトン湖で行われたロータリーのイベントに参加しました。そこでハンガリー伝統の乗馬を見る機会がありました。私には馬への接し方が少し厳しく感じられ、あまり好ましく思えませんでした。

夜には日本学校で知り合った友人が偶然同じプログラムに参加しており、再会することができました。翌日はビーチバレーボール大会があり、私たちのチームは 3 位になることができました。その夜はホテルで UEFA チャンピオンズリーグ決勝を観戦しました。今年の決勝はハンガリーで開催されたこともあり、街中は大変な盛り上がりだったそうです。

6 月 4 日から 7 日には、留学生として最後の大きなプログラムに参加しました。その中で、留学生同士によるハンガリー語大会が行われました。チームで問題を解いたり、参加者全員の前でスピーチをしたりしました。

結果は 2 位でした。とてもうれしかったです。1 位はブラジルから来た留学生でした。

これがおそらく皆と会える最後の大きな機会になると思うと、とても寂しい気持ちになりました。

ハンガリーで過ごせる時間も残りわずかとなりました。帰国が近づくにつれて寂しさを感じるが増えてきましたが、この国で出会った人々との時間を大切にしながら、一日一日を悔いのないよう過ごしていきたいと思います。